

平成28年度

今日的課題研修「児童理解」

子供の思いを受け止める教師の在り方

一緒に学ぶ時間としましょう！



名城大学大学院
大学・学校づくり研究科 曾山和彦

2016.10.12

やはり、それは

子供が心を開く教師とは



- 子供の話を聴く教師

2

子供の話を聴けない教師

お互い、以下のように
なっていないかチェック！



- 1. 自分の心に余裕がないから、子供に心向けられない
- 2. 子供のもつ力・可能性への信頼がないから、助言・指導が多くなる
- 3. 子供のもつ関心の「土俵」に乗れないから、聴き流してしまう
- 4. 感情転移に巻き込まれるから、心穏やかに聴けない
- 5. 自分に「OK」と言えないから、子供自身にも子供の話すことにも「OK」と言えず、素直に頷けない

3

心に余裕をもつ = メンタルヘルスの維持



- 職場におけるメンタルヘルス「キラー要因」第1位

職場内のコミュニケーション

これさえあれば、「仮に、仕事が忙しくても、つまらなくても」、職場でやっていける

現代は、いかにして、かつての「飲みコミュニケーション」に代わる、コミュニケーションの場を用意できるかが、職場メンタルヘルス向上の鍵！（厚生労働省関係者の声）

4

メンタルヘルスのキーワード(研究)



校内の相互援助関係が良好であることが重要
八並・新井(2001), 田村・石隈(2001)他

自尊感情向上はストレス軽減に影響
川西(1995), 岩上(1998)他

校内援助関係への抵抗がある教師もいる。
スクールカウンセラー等, 他の資源を生かす視点を持つとよい
伊藤(2002)

5

メンタルヘルスのキーワード ～人とのかわり～



・あなたはあなた、私は私。だけど、もし私たちが互いを必要としているなら、それは素晴らしいことだね。しかし、もしそうじゃなければ、それはそれで仕方がないこと。(by パールズ)

・みんなとうまくやれたらいいが、そうならないこともある。分かり合えない人とは分かり合えないままでいい。本当に分かり合える人はわずかでもいい。そのわずかな人が十分にあなたの人生を支えてくれる。(by 諸富)

6

子供のもつ力・可能性を信じる

～ロジャーズのアプローチ法～

ロジャーズの来談者中心療法は、日本における「カウンセリングの代名詞」とも言えるほどである。

- 「クライアントがどこに行くべきか、どう生きるべきかを知っているのは、他ならぬクライアント自身」(ロジャーズ)
- では、カウンセラーの仕事とは何か、「クライアントが十分に自己探求できるような安全な雰囲気を提供し、クライアントの話に耳を傾けること(傾聴)」
- カウンセラーは助言などせず、傾聴することが大切。(ロジャーズは、初期に「非指示的アプローチ」と呼んだ。)

7

聴き方のチェック

話の「聴き方」をロールプレイでチェック！

なぜ、ロールプレイなのか？ (ロールプレイの意義)

ロールプレイは「道場の竹刀稽古」。本番で斬られない、斬られないために稽古を積む(河合)

8

傾聴

～全ての理論、技法を超えた基礎・基本～

- 言葉の応答に限らず、身体全体、心も併せて聴けたか(言語及び非言語的コミュニケーションはどうだったか)
- 相手の話を取ってしまわなかったか
- ジョイニング(波長合わせ)ができたか

話し上手は、聴き上手

9

傾聴の意義と基本技法

- クライアントの言葉を鏡になって返すことにより、クライアント自身の自己対話が始まる。
- アメリカの心理実験。カウンセラーの技量、技法に関係なく、クライアントが治るときにはカウンセリング場面で必ず「沈黙」がある。

基本5技法

受容、繰り返し、明確化、支持、質問

10

かかわる子供に関心をもつ

最高の思い出！
ナイスガイ「ハングル少年」



関係づくりの第一歩は相手への関心

- 「この子は何が好きなのだろうか？」「この子は何が得意なのだろうか？」等、かかわる子どもの「リソース(資源、財産)」を貯めておく
- 子どもの「リソース」を使い、言葉をかけていく
- 特に、教師であれば、気になる子のリソース探しがどれくらいできるか　それが「腕の見せどころ」！

11

白いスクリーンになる

- 感情転移；父、母、兄弟等に対する感情を類似の人に向けること。例；父親を憎んでいる人が、その感情をカウンセラーに向ける。
- 対抗感情転移(逆転移)；感情転移に巻き込まれること。クライアントが、愛や怒りの感情をぶつけてきたとき、愛してしまう、怒ってしまうこと。

カウンセラーは「白いスクリーン(empty screen)であれ」。感情転移に巻き込まれないように。

12

私たち自身に

自分にOKと言う

自分にOKと言えない人は、他者には尚更OKとは言えない。
自分を大切にできない人は、他者は尚更大切にできない。
だからこそ、**自尊感情(自己評価の感情)**を大切に！
頑張っている自分・仲間に「OK」と言おう！

まずは、**私たち自身にOKと言うことから始めよう！**

お薦め演習「四面鏡」 ***本日ラストに**

13

やはり、それは

子供が心を開く教師とは

□ 子供に**伝わる言葉**をかける教師

14

伝わる言葉のかけ方

カウンセリング理論による**伝わる言葉**をかける

- 東の横綱；「いいところ探し」
- 西の横綱；「対決アイメッセージ」
- 東の大関；「リフレーミング」
- 西の大関；「例外探し」

是非、拙著「伝わる言葉の番付表」(明治図書)もご活用ください

15

東の横綱 「いいところ探し」

気になる子のいいところ探しができる！それが私たちプロ！

□ まずは、子どもの**「いいところ」**を探し、貯める

誤解したA先生；「ひん」

□ 貯めた**「いいところ」**を使って、**言葉をかける**

褒める 肯定ユーメッセージ

★

勇気づける 肯定アイメッセージ

認める

分岐点は「10歳、思春期」

大人の声/友人の声
うれしいのは？

かける言葉に迷ったら「ありがとう」

16

西の横綱 「対決アイメッセージ」

大学でも効果抜群！ただし

行動 相手の**行動**について伝えよう

影響 どんな**影響**を受けているか伝えよう

感情 Un-Happyな**感情**を伝えよう

17

東の大関 「リフレーミング」

人生考え方一つ(Mさん)

□ リフレームは「枠の再構成、見方を変える」

□ 「**短所**」と感じるものを「**長所**」に書き換える

「長所はゼロ、短所はいっぱい」(ある中学生の声)

- ・「私って、すごく優柔不断」
- ・「私って、すごくおしゃべり」
- ・「俺って、けっこう気が小さい」

考え方次第で悩みは消える(論理療法の骨子)

「幸せになるか不幸になるかは自分が決めている」

18

西の大関 「例外探し」

フリー・セラピーは絶対お薦め!

うまくやれていること(例外)はきっとある

「てめえ!」と言う
暴言が「問題」 → 「先生、あのね」と言う
丁寧語が「例外」

なぜ、「例外」が生まれた?
(例外の責任追及)
・「休み時間に一緒に遊んだから」
・「ゆっくりと話を聞いたから」
支援のヒントがここにある

私たちは「問題」が100%のように思いがち

19

おわりに

~皆さんに伝えられる・伝えたい3つのこと~

- 一つだけでは多すぎる (外山滋比古)
- 学び続けることは教師の「職業倫理」
- 今、見ている景色も楽しむ

「四面鏡」を最後にお伝えします!

20

主な参考文献

- 「思考の整理学」、外山滋比古、ちくま書房
- 「親業」、トマス・ゴードン、サイマル出版
- 「カウンセリングの理論」、國分康孝、誠信書房
- 「時々、“オニの心”が出る子どもにアプローチ学校がするソーシャルスキル・トレーニング」、曾山和彦、明治図書
- 「時々、“オニの心”が出る子どもアプローチ2 伝わる言葉の番付表」、曾山和彦、明治図書
- 「子どもに学んだ “王道” ステッパン・ツー・スリー」、曾山和彦、文溪堂

特別支援に関する私の考えの全ては「王道ステップ」にまとめました!

HP;「KAZU・和・POCKET」

21

参考

関係づくり実践に関心のある方へ

22